

型紙

スモール型紙

カッターでグレー部分を切り抜き、生地の上にのせるとボタンの柄が出る場所を決める時に便利です。

----- 切り取り線

※グレーの部分がボタンの表に出る部分です。別の紙に写すか、切り取り線に沿って切り取り使用してください。

(外) 直径約 53mm
(内) 直径約 29mm

ラージ型紙

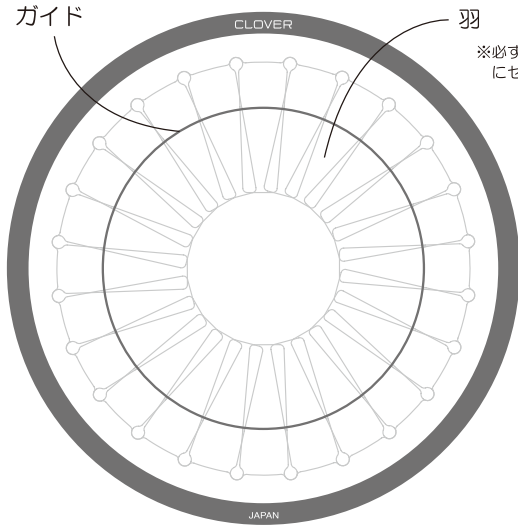
カッターでグレー部分を切り抜き、生地の上にのせるとボタンの柄が出る場所を決める時に便利です。

(外) 直径約 77mm
(内) 直径約 48mm

※型紙を使われる時は拡大縮小せずにプリントしてください。

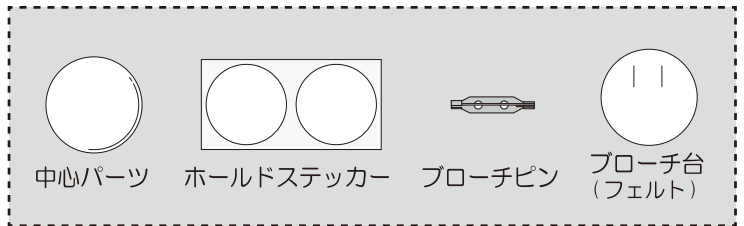
各部の名称

※イラストはラージで説明しています。



※必ず右隣の羽が上に重なるようにセットしてください。

パーツセット (1セット)



※複数個作りた場合は別売の

57-907 ロゼットメーカー用パーツセット (スモール3個入り)

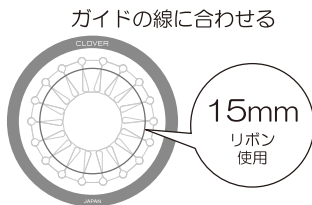
57-908 ロゼットメーカー用パーツセット (ラージ3個入り) を、お買い求めください。

作れるロゼットのサイズ

▼スモール

約 4.5cm (15mmリボン/約60cm使用)

約 5cm (18mmリボン/約60cm使用)



ガイドの線に合わせる

15mm
リボン
使用

▼ラージ

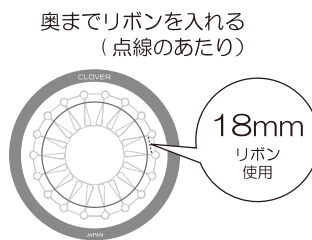
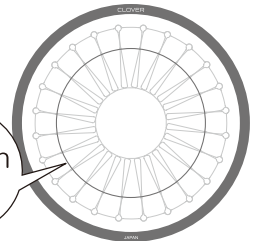
約 8cm (24mmリボン/約90cm使用)

約 9cm (36mmリボン/約110cm使用)



ガイドの線に
合わせる

24mm
リボン
使用



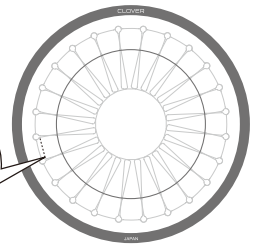
奥までリボンを入れる
(点線のあたり)

18mm
リボン
使用



奥までリボンを入れる
(点線のあたり)

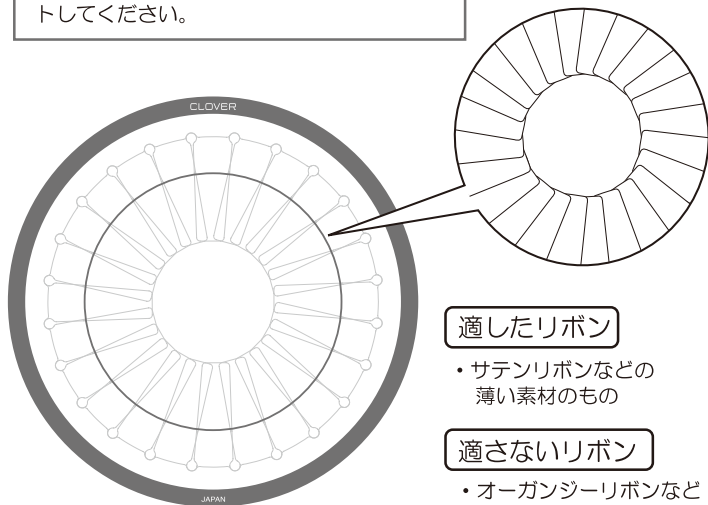
36mm
リボン
使用



作りはじめる前に…

リボンに裏と表がある場合は、リボンの裏を自分の方に向けてロゼットを作ります。

ロゼットを作る前に、必ず羽を確認してください。常に右隣が上になっている状態にセットしてください。



適したリボン

・サテンリボンなどの
薄い素材のもの

適さないリボン

・オーガンジーリボンなど
薄すぎる素材のもの
・毛足の長いベルベット
素材や、厚みのある
刺しゅうリボン

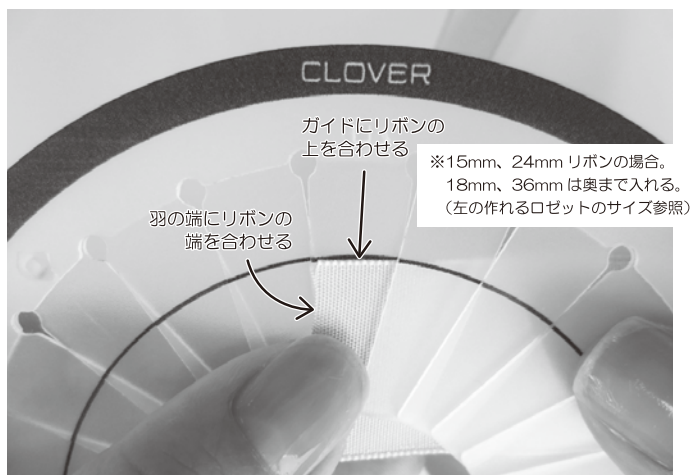
準備するもの

- ① リボン 〈左の表を参考に準備してください〉
- ② はぎれ 〈スモール：約 8×8 cm〉
〈ラージ：約 10×10 cm〉
- ③ 手ぬい糸
- ④ ぬい針
- ⑤ はさみ
- ⑥ ボンド
- ⑦ 定規
- ⑧ 印つけ用品

プリーツを作る

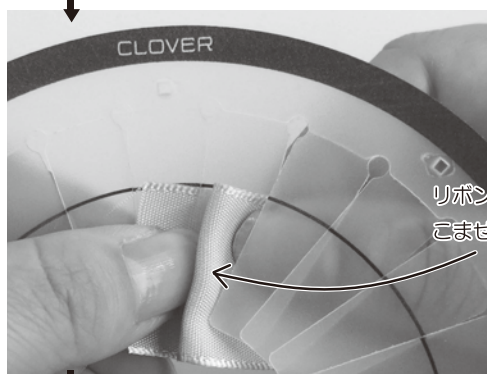
ラージと 24mm リボンを使用した例を説明します。

- ① 作りたいロゼットの大きさに合わせてリボンを準備して写真のように下からリボンを差し込みます。

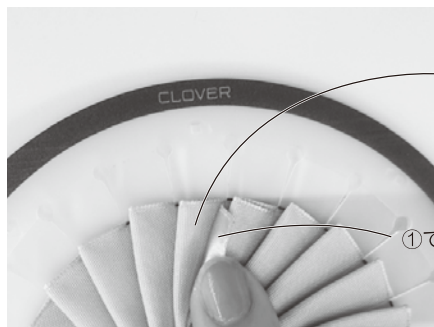
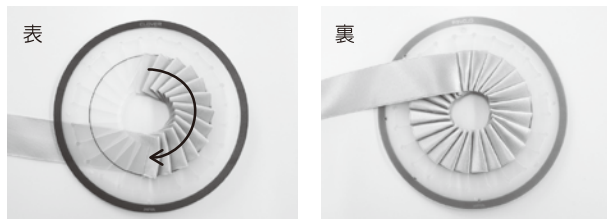


※リボンに表裏がある場合は、リボンの裏をこちらに向ける。

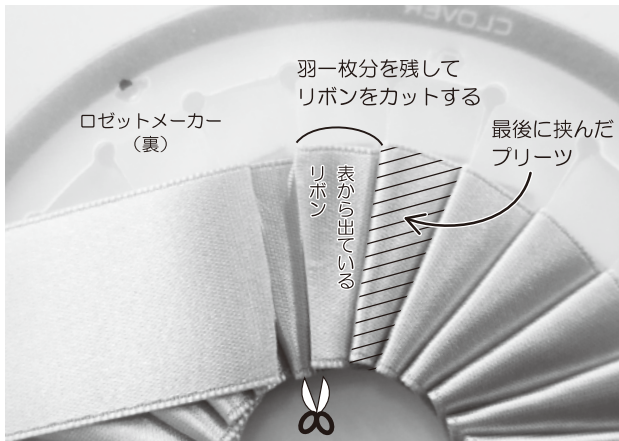
- ② 左手の親指と人差し指で写真のように最初にリボンを差し込んだ右隣の羽を挟んでリボンを固定し、右手の親指と人差し指でプレート下のリボンをつまみ、親指でリボンを滑らせるように折り込みます。



- ③ ②と同じようにリボンを右周りに挟んでいきます。必ず最後の羽までリボンを挟んでいるか確認してください。最初にリボンを差し込んだ羽にもリボンを折り込みます。



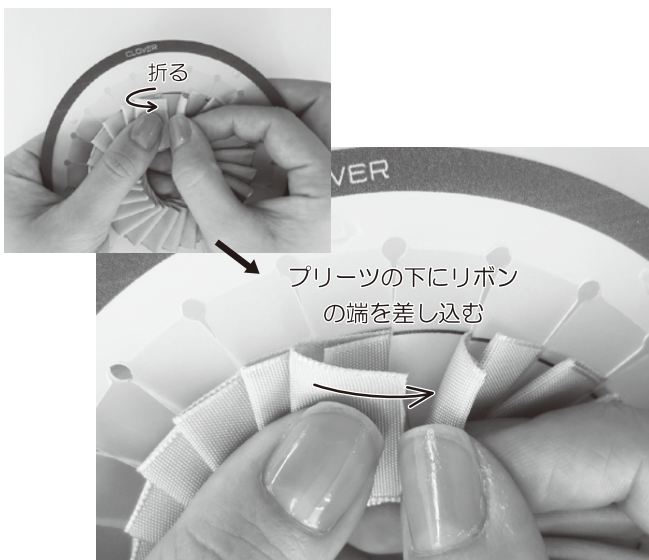
- ④ ロゼットメーカーを裏返し、羽ひとつ分残してリボンをカットします。



- ⑤ ロゼットメーカーを表に戻し、最後に折り込んだリボンの“わ”になった部分を持ってそっと引き出し、④でカットしたリボンの端を表に出します。

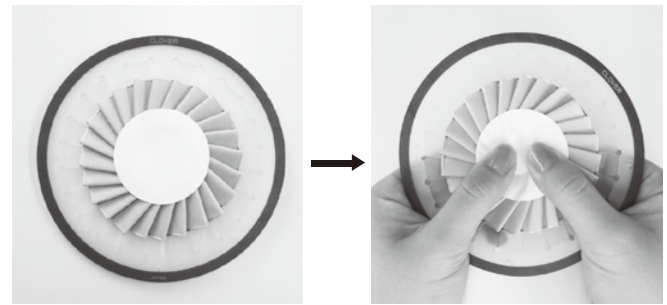


- ⑥ 引き出したリボンを写真のように折り、右隣のプリーツの下に差し込みます。これで、表からも裏からもリボンの端が見えずに1周プリーツがつながりました。



仕上げる

- ① ホールドステッカーをロゼットの中央、表と裏に貼り、しっかりと親指と人差し指で挟みながら馴染ませます。



※この状態で見ている面がロゼットの裏になります。

- ② しっかりとホールドステッカーが馴染んでいるのを確認してからロゼットの中心に親指を置き、ゆっくりと下に押し出してロゼットメーカーからリボンを外します。



※ここでシールの内側をホッチキスでとめるとよりしっかりと固定できます。リボンに厚みがある時はホッチキスの芯がうまく刺さりません場合もあります。ご注意ください。

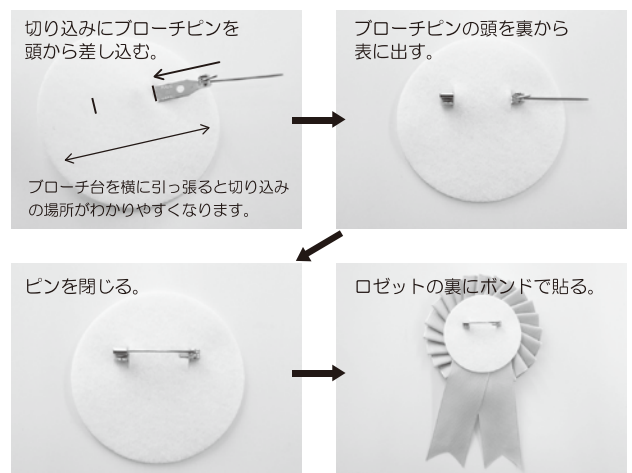


☆リボンを外した後ロゼットメーカーの羽の重なりが上下ばらばらになります。次のロゼットを作る前に必ず、右隣の羽が上になっている状態にセットしてください。

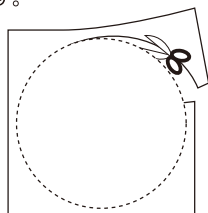
- ③ 残ったリボンを好みの長さにカットして、ロゼットの裏、もしくは表にボンドで貼ります。



- ④ プローチ台にブローチピンをセットして、ロゼットの裏にボンドで貼ります。

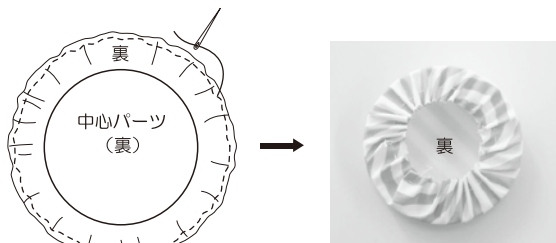


- ⑤ 説明書の表にある型紙を切り抜き、はぎれに印をつけて切ります。



※インクジェットプリンターで印刷して生地を作ることができる素材が発売されているのでご自身でデザインしたものや写真をプリントして中心パーツに使うことができます。家電量販店などでお取扱いがあります。

- ⑥ 5 mmほど内側をぐしぬいし、中心パーツを中心に置いてから糸を引き締め玉止めをして糸をカットします。



ぐしぬいをしたら、中心パーツをのせて糸を引きしめる。

- ⑦ ⑥で作った中心パーツをロゼットの表に貼ります。上から重い本など重しを置いて乾かすとしっかりと形を保てます。



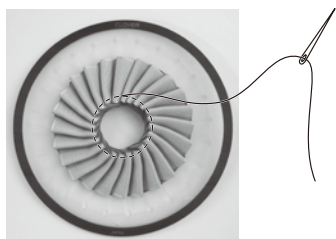
【できあがり】

番外編：パーツセットを使わない場合

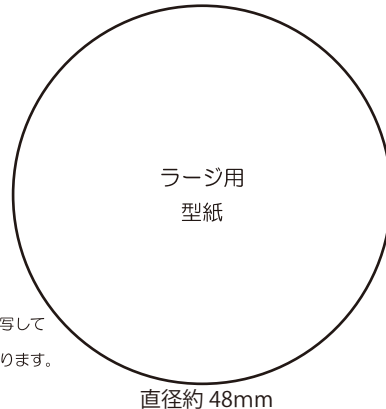
パーツセットを使うと手間をかけずに簡単にロゼットを作ることができますが、パーツセットを使わずにロゼットを仕上げる方法もあるので一例をご紹介します。

準備するもの

- ① リボン 〈表の“作れるロゼットのサイズ”を参考に準備してください〉
 - ② はぎれ 〈スモール：約 8×8 cm〉
〈ラージ：約 10×10 cm〉
 - ③ 手ぬい糸
 - ④ ぬい針
 - ⑤ はさみ
 - ⑥ ボンド
 - ⑦ 定規
- ⑧ 厚紙
 - ⑨ フローチピン
 - ⑩ フェルト
- } 新たに
必要な物
1. **「プリーツを作る」**を参照してプリーツを作ります。
 2. **「仕上げる」**①のホールドステッカーの代わりに、ロゼットの内側を糸でしっかりと2周ほどなみ縫いをします。プリーツを全て縫えていることが確認できたらロゼットメーカーからリボンを外してください。



3. フェルトをスモールは3 cm、ラージは5 cmに丸く切り抜きます。フローチピンをフェルトに縫い付けるか、お好みの場所に切り込みを入れて**「仕上げる」**④のようにフローチピンをセットします。



※この型紙はコピー、もしくは別の紙に写して使ってください。直接切り抜くと裏の説明が読めなくなります。

4. 厚紙をスモールは3 cm、ラージは5 cmに丸く切り抜きます。**「仕上げる」**⑤と⑥と同じようにして中心パーツを作ります。ふっくらさせたい時はキルト綿をいれたり、はぎれを使わなくても厚紙にイラストを貼ったり柄の入った紙やフェルトなど貼っても自由な発想で中心パーツとして使用できます。

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上 クロバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

クロバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

④ 本製品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

121602